（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゆうゆう白島			
○保護者評価実施期間	令和8年　1月　5日	～	令和8年　1月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	47	（回答者数）	34
○従業者評価実施期間	令和8年　1月　4日	～	令和8年　1月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　2月　5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い活動スペースがあり、季節や天候にかかわらずサッカー等の運動ができること。	発達障害を持つ利用者に対して、専門的な知識を持って支援にあたることができるコーチを外部に依頼している。	従業員のスキルアップのため外部研修に参加しスキルを身に着けられるように積極的に研修に参加を促す。
2	調理設備が整っており、栄養士資格や製菓専門学校で学んだ経験を持つ従業員が毎週調理活動を支援している。	年齢や調理技術の習熟度に合わせてクラス分けを行い、段階を踏んで達成感を感じながら新しい作業に取り組めるようにしている。	季節感を感じられるよう、食材は旬のものを選ぶようにしていく。行事食についても作るだけではなく、伝統行事の意味についても学びの機会を作りたい。
3	ヨガや書道、陶芸、音楽、木工工作と定期的に外部の講師に指導に入ってもらっている。児童にいろいろな体験を提供している。	画一的な指導や、見本の押し付けにならないよう個性を大事に作品制作を行っている。	新しい活動の導入についても検討したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っていないので、利用を断念せざるを得ない方があった。送迎についての問い合わせもある。	年齢や個別の課題によって利用時間帯を分けているため一日に何度も送迎を行うことは難しい。	ガイドヘルパーの利用を紹介する。　支援時間が終わってもお迎えに来られるまで事業所内で利用者さんに待っていただく。
2	保護者会等は行っていない。	個別の状況や年齢、課題に違いがあるため事業所主催で行う機会がなかった。	講師を招いての講演会や、研修会を開きたい。
3			

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゆうゆう白島			
○保護者評価実施期間	令和8年　1月　5日	～	令和8年　1月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	47	（回答者数）	34
○従業者評価実施期間	令和8年　1月　4日	～	令和8年　1月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　2月　5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い活動スペースがあり、季節や天候にかかわらずサッカー等の運動ができること。	発達障害を持つ利用者に対して、専門的な知識を持って支援にあたることができるコーチを外部に依頼している。	従業員のスキルアップのため外部研修に参加しスキルを身に着けられるように積極的に研修に参加を促す。
2	調理設備が整っており、栄養士資格や製菓専門学校で学んだ経験を持つ従業員が毎週調理活動を支援している。	年齢や調理技術の習熟度に合わせてクラス分けを行い、段階を踏んで達成感を感じながら新しい作業に取り組めるようにしている。	季節感を感じられるよう、食材は旬のものを選ぶようにしていく。行事食についても作るだけではなく、伝統行事の意味についても学びの機会を作りたい。
3	ヨガや書道、陶芸、音楽、木工工作と定期的に外部の講師に指導に入ってもらっている。児童にいろいろな体験を提供している。	画一的な指導や、見本の押し付けにならないよう個性を大事に作品制作を行っている。	新しい活動の導入についても検討したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っていないので、利用を断念せざるを得ない方があった。送迎についての問い合わせもある。	年齢や個別の課題によって利用時間帯を分けているため一日に何度も送迎を行うことは難しい。	ガイドヘルパーの利用を紹介する。　支援時間が終わってもお迎えに来られるまで事業所内で利用者さんに待っていただく。
2	保護者会等は行っていない。	個別の状況や年齢、課題に違いがあるため事業所主催で行う機会がなかった。	講師を招いての講演会や、研修会を開きたい。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービスゆうゆう白島

公表日 令和　8年　3月　1日

利用児童数 令和　8年　2月　1日　52人　　回収数 34人（兄弟6組）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				人工芝の広いスペースがあり、とてもいいです。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	80%				階段があります。	駐車場からも事業所内にもエレベーターがあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	85%			15%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	82%	6%		12%	公表してある支援プログラムを見ていない。	HPにて公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	85%			15%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	85%					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	82%	5%		13%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95%			5%		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	35%	10%	45%	10%		公園や公共の施設を利用した際に関わりを持つことがあります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	90%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30%		55%	15%		講演会や研修会のチラシやご案内をさせていただいております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	75%	10%		15%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	82%	10%		8%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	85%	15%				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24%		70%			保護者会は行っておりません。ごきょうだいも参加いただける交流会を行っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85%			15%	個別での面談を行っていただきました。	必要があれば個別面談、三者面談を行っております。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	75%	15%		10%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	75%	10%		15%		HPで活動の様子や今後の予定をお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%			10%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	65%	10%		15%		どなたでも観ていただけるファイルを事業所内に置いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	85%	5%		10%	月一回の避難訓練を行っていただいています。	職員の訓練、設備点検を定期的に行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	85%			15%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%			15%	迅速に対応していただきました。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	

公表日 8　年 3 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			出来れば早く帰りたいというご希望がある場合それぞれに適した支援時間のご利用をお勧めしているが、難しいこともある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員加配している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段があるがに利用が可能。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		十分な広さの運動スペースがある。調理室や学習スペースの用意がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンできる個室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		代表者が社外研修に参加し、事業所内研修を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修の紹介、参加を促している。定期的に社内研修を行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者面談を行い支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議や日々ミーティングを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		職員全員で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ミーティングを行い意見を出し合っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		担当者会議を開き、策定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれの活動別にチームで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の支援課題に沿ったプログラムを考えている。	年齢や課題によって曜日や時間を分けている。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			年齢や課題によって曜日や時間を分けている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		運動や調理活動等支援内容によってチームでミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		運動や調理活動等支援内容によってチームでミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		状況に応じて組み合わせて支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		できるだけ尊重している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者が参加するようにしている。	担当者が都合がつかない時はミーティングを行い、自発管が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者が希望される場合行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校のホームページの確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者が希望される場合行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者が希望される場合行っている。同行することもある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		保護者が希望される場合行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	公園や公共施設を利用した際に関わりを持つことはある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		およそ月一回参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎に来られた時や電話連絡をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所内で研修会のチラシをお渡しする等ご案内している。	
一	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に自発管から行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者面談や、電話でお話ししている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者が希望される場合行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	個別以外での保護者会は行っていない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情窓口をご案内している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページで活動や行事予定をお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援を行う等配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		春に毎年コンサートを開いている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		従業員の訓練を行っている。	どなたでも観ていただけるファイルを用意しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		従業員の訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在そういった対応が必要な利用者さんはおられないが、必ず確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画を策定し、訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			どなたでも観ていただけるファイルを用意しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		従業員の訓練を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		広島県や市が行う研修に参加し、事業所内研修に繋げている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		本人、保護者に同席していただき計画に同意していただいている。	